

対象者とよく対等な視線から関わりを持つこと
対象者と同じ目線に立てよう、相手の話をよく聴くことを心がけている。
対象者に対して直接アプローチしていくことができること。
対象者のことを最優先に考えていること
対象者のニーズを生かし、専門的知識を含めた企画・運営をしていること。ある程度の事務も行き、事務職とも共調しつつ行えること。
対象者の意見を最も大切にしていること
対象者の気持ちにそった援助をしていること
対象者の個性に応じた相談のプロセス 関係機関との連携・調整
対象者の数だけでなく、質の変化についても、でも、どうせ事務職は評価しようなんて思っていないと思う
対象者の生活全般をとらえて支援計画を立てること
対象者の声をできるかぎり活かすように心がけています。
対象者の声を聞き、どうする方向があるのか、一緒に考えていくこと。
対象者の全体像を把握できること。(認定調査票のチェックや審査会資料を読み込みで)対象者の全体像を紙ベース上から把握した上で必要に応じ関係機関の連携を図ったり、苦情等にも応じられること
対象者の方たちが楽しく参加でき、継続をしたいと思いますような雰囲気づくりを大切にしたいと思っていること
対象者の問題を発見する力は他職種より長けていると思う。そこをもっと評価して権限を与えてほしい。
対象者の立場に立ってかわるために…関係機関と連携をとり支援活動にいかしていること
対象者の立場に立って在宅支援していること
対象者の話をよく聞き、必要な情報を提供していること。
対象者ひとりひとりに対応した細やかなサービスの提供
対象者や、地域の方々との関係を大切にしていること
対象者をよく見て、情報を整理して、一人一人に合った支援をしようとしている所。
対象者を主体とした援助が行えるよう心がけていること(対象者中心に考える)
対象者個々の背景(生活環境・家族の状況等)、専門職からの働きかけをどう受けとめているかなどを確認して、必要な支援につなげていること。(個人の事情、心情に配慮しつつ、問題解決につながる道をサポートしていること)
対人サービス
対人サービスでの評価(当事者、関係機関との連携、信頼度等)
対人サービスにおいて住民ひとりひとりに親切にいていねいに相手の気持ちに寄り添って対応していること。(相談場面など健康教育)
対人サービスの担い手として、専門知識を生かし、個別に対応できること。対応する際には、対象の周囲の状況にも考慮し、支援方法を構築してゆく視点をもっていること。
対人サービスや個人面接などケースと1対1で対応する際に住民の意見を傾聴していること(技法)
対人サービスを大切にしていること
対人サービスを大切にしていること
対人なので形としてあらわされにくく壁にぶち当たる事が多くあり評価が難しい長い目で1人を大切にしている姿勢をみてほしい(母子保健担当)
大きなことはしていませんが、今実施している事業をより良いものになるよう努力し、目の前にいる方を大切に丁寧な対応を心がけていること。
大勢のお母さん達の信頼を得ていること、指名で相談にくる人が増えていること。
大卒であり、理論的な知識、新しい知識を積極的に取り入れながら住民のニーズになるべく応じた事業を企画、展開していること。
大多数の住民に効果がある業務ではないが、必要とする住民が存在し、それに対して少しづつではあるが対応していること
第一線の現場で働いており、住民の実態を把握でき生声を直接聞いている。そこから事業の提案をしている。(上司には住民の声が届かないのだから、現場にいる専門職の提案を評価して欲しい)
沢山の業務をこなしている
誰があとをひきうけてもできる文章整理力
誰がやっても同様に見える仕事だけれど、大きなミスもなく普通にこなしている事
誰からの評価かは不明であるが、現在特に具体的なものは無い。
誰からの評価ですか？
誰に対しても偏見や先入観をもたないように努力し、相談者が自ら考えて意志決定したり行動したりできるよう支援しようと思っていること。
誰に評価してほしいか？ 1. サービスを提供した相手に(満足してもらえたか)？ 2. 行政として施策が効果をあげているか財政担当部に？ にもよるが、今はどうでもいい。庶務的なことは勉強だと思って、とにかく毎日失敗しないように仕事するだけ。
誰に評価してほしいと聞いているのか不明
誰に評価してもらうかによってもかわるが、自分の仕事の評価は対象にとってどうであったかだけが気になるが、他は特に気にならない。どちらかと言えば直属の上司の仕事に対する姿勢の評価をする機会があればいいと感じている
誰に評価して欲しいのかわからないので、何をかいたらいいのかわかりません。忙しいということ以外は、専門職としての事業、企画を行っているので、仕事の内容には満足しています。ただ専門職として同僚に理解してもらうには、年数がかかりました。
誰に評価してもらうのか、の点で異なるのかも思うのですが、(住民なのか職場の上司になのか等)特に自分として"これを"と強調したいものは考えつきません
単なる統計処理を行うだけでなく住民や関係者との関わりを大切にしていること。
単にルーチンな仕事をしているのではなく、新たな体制や活動を作り出していくために、努力していること。(目に見えての成果は少ないが)
単に業務を無事に行うのではなく保健師として「予防」の観点にたった実施内容を重視していること

単に事務的に処理するものでない業務であるということ。数字だけで評価できない業務もあるということ。
単年の業務でなく経年的に積みあげた業務でありそこから評価し次年度につなげていかねばならない仕事であることを理解してほしい(専門職としての特性)
担当がどこかわからない相談の総合窓口的な役割をしていること 住民や利用者の声を大切にしていること
担当が変わり1年たっていないため、自分自身でも事業評価や活動評価できていない状態。評価してもらうほど特別な活動は行っていない
担当ケースについては、かなり相手の立場を優先して相談にあたる時間を設けている。
担当ケースへのかかわりを関係施設との連携により総合的に判断できること
担当している業務はきちんととりこんでいること、楽しく仕事ができるよう人間関係を大切にしていること
担当している事業については、「あの人にきけばわかる」という様に、責任を持って行うこと。
担当するセミナー等が魅力的になるよう、工夫している
担当する事業に参加した住民の数値ではあらわしにくい変化
担当の業務を、住民や現場のスタッフの視点で、改善するために、会議の企画や推進をしていること。
担当の地域に責任をもち、保健活動を展開していること
担当の保健事業が原調に進行するよう管理していること。
担当課の業務(保健福祉事業、介護保険事業、ごみ及び環境行政全般 他)全てについて、保健師としての視点(個人、家族そして地域の人々の健康課題の把握と解決方策への相互努力)で事業を展開、推進したいと考え専門職種の限られた村の中で、現場業務もやりながら課長職をこなしていること
担当外の業務についても一緒に考え意見をいう
担当業務だけでなく、全体の保健事業の動きやスタッフの動きに対してなるべく把握しようとしている。一何かあれば問題提起をする
担当業務に従事するにあたって関連の会合、研修会に自主的に参加し、事業に生かすよう努力している。
担当業務は、責任をもって遂行していること
担当業務や従事した事業に対し前向きに取り組んでいるところ
担当業務以外の総括的役割をこなしているところ
担当事業をこなすだけしか能力がないので、評価してもらうだけの仕事でできていないと思うので、とくにない。
担当地域の民生委員や社会福祉協議会、ボランティアグループ、一般住民など幅広く連携し問題に取り組む姿勢を大切にしていること
担当地区住民との関わりに努めていること
担当内のスタッフが活動しやすい環境づくりを心がけていること。
担当部分については、公務員として当然な部分をもちこなしている。ルーチンワーク
担当分野業務を新任中心で行っていること。
短期で成果が得られるものは少ないが長期的なスパンで見れば効果が得られる事業を展開している点
短期間で目の見える効果(成果)を求められるが、保健、特に予防に関する業務は難しく、理解してほしいが、できていないと感じる
短年で予算(費用対効果)上の評価をするのが難しいので費用面のみでなく対象者がどう変化したかも評価してほしい ex)精神障害者のつらい 参加者は数人で、ごく少数の人に費用をかけているようだが入院せずすごしていければ、又、参加者が出ていくことで本人の生活の充実 周囲の理解が得られていけばそれも評価してほしい
男性保健師としての役割をもさくしているところ。
知識、技術が未熟な分とにかく住民の声には一生懸命耳を傾け、できるだけ訪問するようには心掛けていますが…。評価されるほどの仕事はまだできていないと思います
知識、技術を持ちつつ、住民との関わりをしていること。住民の声を大切にしていること
知識、技術を持ちつつ、住民との関わりをしていること。住民の声を大切にしていること。
知識・技術・経験などが無いぶん、対象者に誠意を持って対応できるよう努力していること。
知識だけでなく、人の気持ちをできる限り大切にしながら努力して関わっているところ
知識など専門性も生かしたいし、住民の声も反映させたい。自分の納得のいく範囲内で、他の人に言われたとかではなく
知識に基づいた対応であり、1つひとつのケースを大切に扱うこと。
知識や技術はまだまだであるが、一生懸命取り組もうとしている熱意。
知識や技術を生かした対象との関わり方
知識や経験はまだ不足していますが、住民の方と接する時は、明るく、相手の立場に立って考え行動するよう心がけていること。
知識を生かした専門職としてのかかわり
知識を生かした専門職として関わり、総合的な観点に基づき各関係機関と連携を図りながら住民サイドに立てよりよい個々のQOL向上を目指して支援・指導をしていること。
知識を生かした専門職として住民との関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。地区組織ボランティアの育成
知識を生かした専門職として住民と関わり
知識を生かして、住民と関わる事ができる事。
知識を生かしてのケースとの関わり 本人だけでなく、家族や、とりまく周りの人を含めての支援
知識を生かし住民と関わり、住民の声を大切にしながら得ている知識も生かしそれを基に事業の企画・運営をしている事。又、様々な専門職の意見も聞き自分の視点だけに固執しないようにしていること。やりっ放しではなく、効果が得られているのか評価しそれを住民には分かりやすく説明し、関わったスタッフへも伝えていくこと。
地域、(統計)分析から得た情報で事業の企画、運営を行っていること
地域、ケース、関係機関へできるだけ出向くこと。
地域、各事例、ケース対応から見えてくる視点と、統計、処理から事業評価していくこと

地域、個別性いづれの場合からでも、その健康問題が個人・家族への支援だけでは解決できない時に地域、行政への働きかけが必要と判断された時に地区活動、あるいは行政施策へつなげていく努力、行動をしていること
地域、実状に添った事業を即、取り入れ住民に効果的な内容を企画、実施していること。
地域、住民、他の機関の状況把握、理解ができる様見たり聞いたりする機会をできるだけ増やしていること
地域、地域住民を大切にしていること、地域づくりについて住民と考え進めていくこと
地域・住民との信頼関係を重視し、期待に応じていきたいと思っていること
地域からの依頼や要望に誠実に応じているところ
地域ケア体制構築及び個別ケアマネジメントを遂行するためのコーディネイトを大切にしていること。
地域づくりができること。
地域づくりから実施していること
地域づくりをしていく上で、住民組織づくり(育成)のために、事前打ち合わせ連絡等、住民の自主性を大切にしながら、かかわってきているところ。住民の自主性を育てる…出さず、引っぱらない…住民には力がある人が多いのでいかに輪の中でやってもらうか配慮も大切になっている
地域でコーディネイトをする努力
地域での活動から、住民のニーズを把握し、それを基に施策に反映していること
地域での活動を1つ1つこなしていること、住民1人1人がよかったと思える様に事業を行っているつもりなので、住民が満足できれば、私も満足であり、評価してもらったとらえています。
地域での活動を大切にしていること
地域での活動を第一に考えていること。待っているのではなく、こちらから地域に出向き住民の声を聞き知ることが大切であり、それをモットーに動こうとしている点
地域での活動内容と、その意義
地域での健康問題に対して現状を明確にし、解決方法を地域住民や関係職員とともに考え、解決していくことや、住民の声、要望を把握する活動。(地域の1人1人が自立した生活ができるよう支援し、暮らしやすい地域になってほしい。)
地域での保健婦活動、特に多問題家族(震災後の復興住宅)に対する対応の中でのネットワークづくり連携のとり方を工夫している。
地域で生活している住民のニーズをとらえ、必要な関係機関と連携する等して、解決に向け活動していること。
地域という現場で、コツコツと個人ケアをしているところ
地域という集団のなかでも、個人個人の住民を大切に考えていること。
地域という生活の場に関わっていることから、住民さんの声を大切に代弁できるようにがんばろうとしていること。(1.看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。2.地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。のようなこと)
地域とのかかわり、専門性
地域とのネットワークづくりにより保健活動を活発にしているところ
地域との関わりを大切にし、個から集団へ、手法は違っても住民側の立場に立って仕事をする
地域との関わりを大切にし、広い視野で住民をとらえ、問題を把握し、サポートするため、専門職としてできる援助を行う。1人でサポートするのではなく、地域の方や他の機関、職種の方と連携しサポートをする。
地域との専門職との連携
地域と協力しながら事業をすすめているところ
地域と住民を結ぶこのような存在
地域と密着して仕事ができるので、住民の声を吸い上げやすい
地域ニーズを把握し事業化および事業の改善をはかろうとするところ
地域における健康情報・課題を住民にわかりやすく、タイムリーに伝え、住民と共に話し合い、住民主体の活動へとつなぐ支援をしていること。
地域における子育て支援も、地域住民とともに企画し、話し合い、実施していること
地域にかかわる業務であること
地域にでて、対個人の対応だけでなく地域を診断する為統計などの資料をだせるよう努力していること(システムの有効利用)
地域になるべく出て行き、個人の声、地域全体の声を生で聞き、なるべく希望を取り入れようと努力しているところ
地域に関わって住民の健康づくりにとりにくんでいるところ
地域に根ざした、活動を目指し、地域性に合わせて予防活動
地域に自ら出て行き、直接住民の声を聞いたり、地域の健康の支援をしているところ
地域に出て、住民の声をきき、住民の力をもっと生かせるような活動を目指しています。机上の計画だけではダメである事を声をあげて言いたい。
地域に出て、直接住民の声をきき 専門職として活動していること。PHNは、「訪問」行政職なら誰でもできると思われるのはショック… という強い武器があること。PHNならでの!
地域に出ている頻度より住民の声を大切にしていること。及び自分1人ではとうていこなしきれない雑務を含め、持ち帰りの仕事でほとんどカバーしていること。学生指導、後輩指導を丁寧にやっている所
地域に出て住民とかかわりを持っていること
地域に出向いて直接住民と話す機会が多くあることで、ニーズを把握できること。
地域に責任をもち、地域のニーズをくみあげ、そのニーズを施策化する力量。無から有を生み出す開拓者。
地域に密着した活動ができるよう担当地区には積極的に出向くようにしている。保健婦活動が目に見えるようデータ化できるものはしていき一次予防に重点をおいていけるように考えていること。
地域に密着した活動が今充分に出きない状況です 育児相談を月1回開催し住民とのかかわりの中から育児支援をしておりますが自分の評価が今1つははっきり明確に出せないのが現状です
地域に密着した保健事業の展開
地域のデータを総合的にまとめ、累計していること
地域のトータルコーディネーターとしての役割

地域のニーズにあった事業を効果的、効率的に実施できるように努力している所。(流れ)(ニーズの検討、実施方法、体制の検討、事業の反省など)
地域のニーズに応じて予防(保健)の視点と地域づくりの視点から介護予防事業を企画・運営していること。
地域のニーズの把握に努め、保健事業を企画・運営していること。
地域のニーズを把握し、ニーズに添った事業や連携を行っていること。国の動向を理解し、地域の状況にそくした方法で事業を企画、運営していること
地域のニーズを把握するため住民の声を大切にしていること。
地域の課題を考えながら、限られた資源(人、施設、費用)の中で効果的な事業の企画運営につとめている。
地域の介護保険サービスに関する専門職の質の向上 地域の在宅介護支援センターの統括に関して方向性を示していること
地域の会合等に専門職として出張ることにより、健康度をアップさせていること。
地域の関連団体と意見交換等しながら事業をしているが、そのプロセスを評価してほしい。(結果だけでなく)
地域の傾向を見る上で、科学的根拠を明らかにする統計処理を行うとともに、個人への関わりを大切にしていること。
地域の傾向を見る上で、科学的根拠を明らかにする統計処理を行うとともに、個人への関わりを大切にしていること。
地域の健康・福祉を造り上げていく場、住民ニーズを最も把握できている場。行政がやっていくべき職務であること。対人援助サービスは数字ではなかなかあからわすことができず、評価されない点
地域の健康づくりのため、住民と協力、連携して保健活動をすすめていること
地域の健康づくり介護予防にむけて地域と連携をとりながら積極的に仕事をしているところ
地域の健康における特徴を把握した上で保健師の視点からどのようなアプローチをすべきか検討(企画、立案)し、組織に関わるよう心掛けている できるだけ地域に出て、生の声を聞くよう心掛けている
地域の健康レベルを上げるために活動しているという、目にみえず、わかりにくい、大切な活動をしていること
地域の健康を守る一員として、住民の声を大切にしながら活動していること。
地域の健康を守る専門職として住民の身近な存在であり、実際に役立っていること。
地域の健康維持の観点で業務をしているという事を、地域住民にも、同じ庁舎で働く職員にも十分知られていない。周知する努力も必要だが、目的をもって業務をしていることを、一緒に理解してほしいとは思う。
地域の健康情報を計立立てて整理分析でき、保健師としての専門職の観点から事業展開の根拠を明確にし、評価がしっかりとできるよう、先輩、同僚と勉強しているところ(未だできていませんが)
地域の健康増進を目指し、地区組織の育成や、集団教育を行っているが個々の意識の変化や、行動変容に向けて、参加者自らの気づきや生の声を大切にしながら、事業をすすめている。随分時間も費やしているが成果がみえにくい。
地域の健康度をレベルアップするために現状分析をし地域のニーズを確認し、企画、実施、評価できること
地域の健康問題を事業に活かし、住民を巻きこんで健康づくりをすすめていること。
地域の健康問題を日頃の活動から診断して事業の企画、施策につなげる、住民の組織化、困難事例への対応…関係機関へつなげる、保健・福祉サービスの提供など行いながら健康で安全安定した生活ができるよう支援する
地域の個別ケースを大切にしたいと思っている点
地域の子育て支援センターの中で身近に素直な住民の方の声をききながら関わりを深めていっている段階で専門的な業務ばかりは行えていないのが現状です。「保健師」という職種、分野があって活動していることを多くの人に知ってもらえればと思います。
地域の自主性を引き出せれるよう、自分を少し抑えて影で動いているところ。
地域の自主性を引き出せれるよう、自分を少し抑えて影で動いているところ。
地域の実情をふまえ、住民の健康を守ることを考えて活動していること。
地域の実情を把握しているので事業の企画に生かせる(住民の声や健診データなど)
地域の実態をはあくし、それをもとに、地区の状況にあわせて活動する
地域の実態をよく把握し、健康問題解決の為の方法を事業化、施策化していける企画・運営・実行力そして評価能力。
地域の実態把握につとめている(事業まとめと統計)1つ1つのケースを大切にしながら、視野を広げて…と心がけているが。
地域の住民との関わりを大切にしていること
地域の住民と一緒に健康づくりに関する問題点を抽出し、改善するための事業を展開していきたいと考えています
地域の住民に直接会い住民の生の声を聞ける我々の意見を聞いてほしい
地域の住民の生活状態の把握、必要と思ったらすぐ訪問体制をとり、住民の声を聞き、いろいろなサービス、資源の提供をすること
地域の住民の立場に立って、専門的知識を生かしながらサービスの提供に心がけていること。
地域の住民主体の健康づくり活動推進への支援
地域の住民性や必要なニーズを考えながら業務・事業を企画・運営していること
地域の情報があるのでそれをもとに、住民の声や相談にきちんと答えていくこと
地域の情報をアセスメントし、事業の調整を行うこと。住民の保健ニーズの判断と事業展開
地域の情報を適確に把握し、関係機関と連携し、事業の企画をしていくこと
地域の状況、情報を基に事業の展開をしていること。
地域の状況を把握し、健康についての問題点を明確にすること、地域住民のニーズと問題点を照らし合わせ、施策に反映させること
地域の人のとの関わりの中から事業を企画し運営していること 地域の人々と共に考えながら企画・運営を実施、又評価していること
地域の人のとの関わりを大切にしていること
地域の人のとの関わりを大切にしているところ
地域の人のつながりの強化など数値で表わせない部分
地域の人の声を気持ちを大切にしよう心がけているところ

地域の人の声を大切に保健師の専門性を生かし地域に本当に必要な、サービスを行っているという所、特に評価されにくい予防活動など長期的な視野に立った仕事を認めてほしい 個別対応では、その人をとりまく社会資源などをフルに活用してケースのマネージメントを行っている所
地域の人や組織をつなげ問題解決の方法を共に考える。
地域の人材を育成しながら、住民の力をつけていくところ
地域の人材を掘出し保健事業につないでいけること
地域の人々、1人1人の声を大切にしていこうという姿勢
地域の声
地域の声を生かし、予防の観点からの業務を企画、ケースごとへのきめ細かい対応(なかなか満足のいく仕事はできてない)
地域の声を大切にしている
地域の組織や民生委員と連携して、事業を実施し、住民の意見をとり入れながら、参加しやすい内容や、対応を配慮していること。
地域の第一線では住民と接してサービスについて住民と話し合い納得いくまで話し合う努力をしていること。時間が不足しており思うような話し合いがしにくいために要求を吸い上げる必要があることを保健師の役割として評価してほしい。保健衛生の向上のために長い目で見て欲しいと思う。住民のいるところに足を運ぶということがとても大切であることを上司は認識すべきです
地域の第一線では住民と接してサービスについて住民と話し合い納得いくまで話し合う努力をしていること。時間が不足しており思うような話し合いがしにくいために要求を吸い上げる必要があることを保健師の役割として評価してほしい。保健衛生の向上のために長い目で見て欲しいと思う。住民のいるところに足を運ぶということがとても大切であることを上司は認識すべきです
地域の団体と密に連携をとりながら地域に必要な講座を開催していること
地域の中でそのニーズを把握し、返答できる様に心がけていること。
地域の中で、医療と福祉の連携を綿密に行い、住民がより適切なサービスが利用できるように対応していること
地域の中で住民をみる(一人の患者としてだけでなく)看護の視点から、様々な問題点を促えようとしている
地域の中で事業を企画しおこなっている
地域の中で住民と接し、1人1人の声を少数でも大事にしていること。
地域の中に入って 地域に合った活動をするを大切にしていること
地域の中の重要な資源となるような活動を残していくよう努力してるところ
地域の中の声をなるべく聞くように心がけている
地域の中の幅広い対象について、それぞれに必要な保健サービスは何かを考えながら、事業を立案・運営していること
地域の中の様々な問題をとりあえず何でも受けることが出来る仕事であること。(しかし、市町村&HC業務を一緒に行うようになってからは、より専門的な知識が必要でアセスメント能力をみがかいなければならず、難しさも感じている。何でも受けることの出来るという利点の反面で専門職としての役割の明確化がより必要だと考える。)
地域の中へあらゆる手段を用いて入っていく、住民の生活、考えなどを大切にしながら様々な活動をひたむきに取り組もうとする姿勢。
地域の特性をとらえた事業を行っているかどうか
地域の特性を考慮し、保健活動を行っているところ
地域の特性を生かし、人的資源を多く持つ、専門職としての能力
地域の特性を把握して、個別ケースをどのように支援しているかをみてほしい
地域の特徴があり、多問題ケース、要個別フォローで支援するには集団より個が重点的になる。
地域の特徴や住民の声を基本にして業務を行っていること
地域の保健、福祉の向上を図るうえで、住民の最も身近なサービスの担い手であること。
地域の保健センターの核となれる保健センターとして、運営出来、住民の声(ニーズ)が聞け、大切にしていること。
地域の保健について考え行動している
地域の方との関わりを大切にしているところ。
地域の方々からの考えや声をもとに、健康づくりの援助者として専門的にかかわっていること
地域の堀りおこし、育成には、長い時間、期間がかかるが評価は短期間で求められることが多いが、もう一つ別なスケールで判断、評価した方が良いと思うことがある
地域の問題点を見出し、事業を実施、評価(むずかしいが…)している
地域へ出たときは個々を大切に考えて対応していること
地域へ出ていって住民と関わり、そこから得た情報やニーズを基に専門職として、事業の企画、運営、展開をしていること。
地域へ目をむけ、地域組織や他機関との連携の中で事業を展開しているところ。市役所組織内での連携をとり、他課をまき込み、事業、援助をしているところ。保健センターのまともな役割として奮起しているところ
地域や、そこに住む人達の生活を知っていること、そして、それらを含め、他の統計資料等と分析して、施策化してゆく力があること
地域や区民から相談があれば、できるだけすぐに対応していること
地域や区民から相談があれば、できるだけすぐに対応していること
地域や住民と直接に接した中で、得た情報、課題、問題点から事業を企画しようとして試みているところ
地域や住民の生活に直接入り実態を把握していること。
地域や生活が専門的にとらえられ、住民の主体性をひき出しより質の高い生活への支援ができる
地域をこまめにまわりいろいろな人とのつながりができている 地域の住民の声を大切にしている
地域をみていくため統計処理を行っている。
地域をみるかんてんから統計的な処理はもちろんのこと住民の声を大切にしているところ。
地域をみる観点 面接対応 市民への支援のあり方 ケースワーク

地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。(数だけの評価でなく、内容について)
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。一大切にしています。母子保健事業計画の策定、実際の事業の進行等について、育児サークル等の意見をできるだけ聞いています。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。カウンセリングスキル、カウンセリングマインドを大切にしているところ
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。この地域(区単位でも可)で、必要と思われること、重点的にやりたいと思っていることが、業務の中でできにくい
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。活動をきちんと評価、分析していること。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。仕事の量が多く、煩雑になりやすく、自分自身かなり意識してまとめていく、作業をしないと、評価してもらえないものにもならない。多くの仕事の中で何を優先しないといけないか考えないと目の仕事に流されやすい。区役所と一緒にやり、その意識はより強くなったと思う。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。住民の声をきき、状況判断すること。
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。数的評価<<住民の内的変化—この評価をどう提示したらわかってもらえるのか悩んでいるところ、適当な指標がなかなかない
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。地域住民との関係性、対応
地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。予防効果
地域を見る観点から看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、住民の声を大切にしていること。
地域を見る観点から勤務時間外だからこそ、必要とされる活動には、積極的に参加、交流をしていること
地域を見る観点から住民の思いを聞き出しその声を大切にしていること
地域を見る観点から住民の声を大切にシケアプランを作成している。
地域を見る観点から住民の声を大切にしていること
地域を見る観点から住民の声を大切にしていること
地域を見る観点から住民の声を大切にしており、地区組織活動を大切にしていること。
地域を見る観点から保健事業はもちろん住民の声を大切にサービスを提供している
地域を見る観点から民協社協 高齢者クラブ等と一緒に事業をすすめているところ
地域を見る観点や、住民の声を事業につなげていくこと。
地域を見る視点から、住民の声を大切にし、活動していること。(一つ一つ物事を大切に考え活動している)
地域を見る視点から保健活動を展開していること
地域を見る視点で、事業を実施していること。
地域を単位にした人的調整ネットワークづくり
地域を把握し、事業の企画、運営を行っている
地域を歩く保健活動をととしてデーターでは表わしにくい住民の声(ニーズ)を把握し、政策形成につなげていること。
地域活動～自主性をもてるよう援助 他機関との連携を努力している
地域活動における展開について
地域活動の広がり
地域活動は地味であるが、コツコツと時間をかけ、住民へのサービスを実施しているところ。
地域活動をしながらも、大量の事務を実施している所。
地域活動を行うにあたり、住民の声を大切にしていること
地域活動を通じて学んだ技術を幅広く生かし、組織力を皆でもり上げていこうとする姿勢。
地域活動を通じて住民と身近に接し、保健事業の実施に生かしていること
地域看護の専門職として、住民に関わりサービスを提供していること
地域看護の知識を持った専門職として日々、考察したり判断したりしながら仕事していること
地域住民(母子)の必要な支援ニーズを見極め適切に援助を行っていること。
地域住民、関連機関から得た情報をもとに、企画、運営をしていること
地域住民1人1人の思いを行政施策に反映してゆきたいと思っていること
地域住民が、未来を担う子供の発達に関心がもてるよう、育児情報を収集する作業過程を協働し、組織づくりへの動悸づけをした事。
地域住民からの情報を関連課に伝え問題意識として共有していくこと。
地域住民からの声
地域住民から依頼された訪問はすぐ行い、依頼者に情報を返すようにしている
地域住民から相談を受けた際、早急に対応すること。

地域住民から又は対象者とのかわりから事業の運営をしていること
地域住民といっしょになり自主活動にむけて企画、運営をしているところ
地域住民とともに一緒に考え、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること
地域住民とのかわりの中で得た情報を基に、地域とかわり、活動をしているところ
地域住民とのネットワークをいかした事業の展開(事業の実施を通じて住民も職員も力をつけるようなすめ方)
地域住民との関わり(接触)から地道に情報把握をしていること。
地域住民との関わりの中で、住民の声を吸い上げ、事業等に反映させていること。
地域住民との関わりの中で、保健師の存在を身近に感じてもらえるよう関わっているところ
地域住民との関わりの中で住民の声を大切に、事業の企画、運営を考えていること
地域住民との関わりを大切に、ニーズに対応できるように心がけていること。(住民の声を大切にしていること)
地域住民との関わりを大切にしていること
地域住民との関わりを大切にしていること。
地域住民との信頼関係をつくるためにできるだけ地域に出向いていることと住民の声を大切に、地域全体の健康問題等の対策として業務計画につなげ、実践していること。
地域住民との積極的な関わり
地域住民との直接的なかわりの中で、生活に密着した活動をしていること
地域住民との連携や情報処理能力
地域住民と共に歩んでいるところ
地域住民と交渉し、健康づくり自主活動を推進していること
地域住民と行政と一緒に「まちづくり」としてのヘルス事業をすることに企画・運営の大変さと、楽しさを同時に感じ、やりがいを感じる。「事業をしている」…というより各事業を通して「まちづくり・人づくり」をしているという視点での仕事を楽しむ。
地域住民と直接、会い声を交わしていることで地域の現状や思いを感じとれること。→行政の施策に生かしている
地域住民と密にかかわりその中で問題点、課題を出しながら、事業の企画運営をしていること
地域住民と連携した健康づくり事業や困難事例の支援における連携調整など
地域住民と連携しながらの支援をしているところ
地域住民にとってどれ程役にたっているか(事業や政策)という点のみを欲しい、他からどうみられているか(他者からの評価)も必要だが、どうPHNとして問題点をみつけ、政策に反映させていくかを考えないといけない
地域住民に広く関わりを持ち、地域と住民との関係性を見れる専門職として、得た情報を、住民の声として反映させたり、関係機関との連携調整をしていること
地域住民に対する情報を把握し、提示しているところ。地域のサービスや実情を踏まえた事業の企画、細やかなアプローチ内容。
地域住民に直接会って情報をえている。住民の生の声は保健師が一番よく聞いている
地域住民に密着しており、時には頼られる存在であること
地域住民のNeedsを大切にしているところ。将来の保健行政を考えながら、仕事をしているところ。
地域住民のかかえている問題を各種施設、サービス提供と連携・調整をとり問題解決していること。
地域住民のかかわりを大切に、信頼関係をもち、健康づくり事業を実施している。
地域住民のために、予防活動をしていること(予防は数字として表れにくく、評価されにくい)
地域住民のニーズ、声をどれだけ業務に反映できているか
地域住民のニーズに少しでも答えられるよう訪問回数を多くしているところ
地域住民の近くにいるので、住民の声を直接、聞くことができる。その声を、行政側に伝えていくことができること。
地域住民の健康づくりに貢献しているところ
地域住民の健康づくりのための日頃業務に対して
地域住民の健康づくりを住民や関係機関と協同してすすめている職種である 個人の健康と社会補償費の減少に寄与している点を行政に必要な職として認めてほしい
地域住民の健康を個、集団、家族へのかわりを通しサポートしていること。
地域住民の健康状態を生の声として、医学、看護学的データとして収集し、日常業務、政策 形成に反映させていること
地域住民の健康面だけでなく、精神面も含めた支援
地域住民の健康問題をアセスメントし、集団の場や個人対応の場で、主体的な健康づくりができるように工夫している点。
地域住民の高齢者福祉の推進のための課題を日常業務の中からつくりあげていること。(実感から…という基本的な部分)
地域住民の実態(統計も含め)を、保健事業の企画立案に生かしていること。
地域住民の実態に基づいて事業を企画、運営していこうとしているところ。
地域住民の状況を把握し、住民の声を大切にしながら活動をしている
地域住民の生活の場から、問題点を発掘し、それを基に事業の企画、運営をしていること。
地域住民の生活をみているという点
地域住民の生命と暮らしを衛るために、専門職として地域住民の健康ニーズをとらえるように努め、現在の事業を見直しながらも住民のニーズに合うようより良い事業の運営ができるようにしていること
地域住民の声にできる限り耳を傾け、受ける側の立場で物事を考えようと思って業務にとりこんでいる。

地域住民の声を聞き、個々の声から集団でのかかわりまでやっているところ
地域住民の声や、様々な情報を基に事業の企画、運営をしているところ
地域住民の声や健康を第一に考え、大切にしていること。また、関係機関への情報提供をすることにより、様々なサービスに広がりを持ち、対象者へのよりよいサービスの提供へとつなげること。
地域住民の声をきいたり、統計など情報を整理しながら、地区活動を展開している。1つ1つの事業を参加者や住民からも、意見(アンケート)をききながら、評価・見直し、展開している
地域住民の声をきき、住民の活動を生かしながら事業を実施していること。
地域住民の声を行政に反映していくこと、地域住民に最も身近なところに居る行政職であること
地域住民の声を大切にし、事業につなげていること。またそのことを住民に情報提供している
地域住民の声を大切にし、住民の思いを基に事業を実施していること。
地域住民の声を大切にしている
地域住民の声を大切にしていること。専門職として相談に応じていること。
地域住民の声を大切にして要望になるべく答えられるように努力していること。
地域住民の声を大切にし事業が効果的、効率的に運営できるようなところをけている。又、区民の方々に満足していただけるよう絶えず工夫している。
地域住民の声を大切に行政政策を作っていくところですが…
地域住民の声を直にきけること。
地域住民の声を聞いている
地域住民の声を聞きニーズをとらえ訪問や保健事業に取り組んでいるところ
地域住民の組織への参加、かかわり 健康講話
地域住民の訴えに耳を傾け、より適切な問題解決へと導ぼうと考えている点。
地域住民の窓口の役割が保健師にはあると思うが雑用的部分にかり出されることも多い、保健師として評価されているか自己PR不足もあると思うが不安を感じる。
地域住民の中に住民主体の事業がどの程度浸透し地域の中で実施されているのか、健康づくり推進員さんの活動の支援状況を見てほしい
地域住民の方と積極的に関わっていること。
地域住民の方と積極的に関わっていること。
地域住民の方々と、直接関わりを持って、健康管理に携わっていること。
地域住民の立場で、健康生活を守るための援助をすることを、常に心がけていること。課題等、文章化する、数値化し、住民と、いっしょに考える努力をしていること
地域住民の立場に立って考えた事業の企画・運営をしていること 予防の親心の事業内容を企画・運営していること 住民主体の活動について
地域住民の力を生かした自主活動を定着させていること
地域住民ひとりひとりを大切にし、丁寧な対応を意識して活動していること。
地域住民への保健活動から、得た情報を次回や、別の業務に、生かそうとしていること。
地域住民や関係機関に対して、数値には表わせないきめ細かな配慮に心がけ業務の展開をしていること。
地域住民や他の専門職と関わり、市民により充実した関わりができるようにすること
地域住民自身の自己決定を大切にしていること
地域住民組織の育成支援や新しいソフト事業のとり組み等についての理解が、いまひとつ薄いと感じる
地域診断から意にそぐう仕事をしているか、結果の出し方、まとめ方を適切に行っているか
地域生活が円滑に行くよう、関係職種と連携をとりながら住民個々の状態に応じた健康管理、生活支援をしようと努めていること
地域全体から見た、事業の妥当性と効果
地域全体をみながら、精神保健福祉業務の中で、いろいろな方向で啓発業務をすすめている点を評価してほしい
地域全体をみて住民を大切にしていること。
地域全体を見た中で、行政としてのあり方を考え企画に携わり意見提案していること
地域全体を見た保健事業の実施により、住民の健康水準が高まること、住民の意見に則した保健事業の実施
地域全体を見て健康問題を探っていくこと 予防活動ができること
地域全体を把握し、事業を展開できる専門職であることをもっと評価してほしい
地域組織と協同で地域に自主グループを作っている
地域組織活動の支援の観点から情報の収集、関係者への情報の提供、資料づくり、まとめをはじめ、関係機関との連絡調整を行なっていること。そのことにより危機対応が出来ていること。
地域担当の保健師として住民と密な関わりをとりながら、業務担当でも膨大な業務を担い、企画運営、予算作成を行っている
地域団体へ健康情報やデータを提示したり、保健師として、必要な医学知識は、専門職としての根拠に基づく個別、集団保健教育には、重要な道具ともいえるが、業務の範囲が広すぎて、情報管理ができていない。
地域特性を把握するために、訪問活動や地域の人からの情報収集に気を配っているところ。
地域福祉、地区組織づくりの基礎知識をもって従来事務職の領分であるセクションで新しい企画、実施を手がけているところ。また、その成果
地域福祉計画で計画をたてその中から地域を見る観点
地域保健そのものを理解して、それをこなしているのが保健師であると評価してほしい ころころ変わる事務職が方針が全くちがうため、ムダな労力だと思う
地域保健という評価が難しい仕事をしている点。

地域保健の現状より得た課題をもとに他の関係機関との話し合いを重ね、共通課題として共働できるシステムづくり
地域保健の知識をもつ専門職と組織や個人と対応していること。
地域保健課(保健センター)全体に関する立場であるが、保健師として地域の把握、他職種との協同による事業推進について、住民の立場を理解しながら適切な健康推進を目指していること。(多くの技術職への助言等)
地域保健活動をする専門職としてケースに関わり、家族も含めて対象としてとらえ、支援をしていること。
地域保健事業活動を住民主体でやる事の大変さ
地域保健政策の企画、立案能力 他職種、他機関等との調整・連携能力
地域末端にあるセンターにおける、業務の実情を正しく把握してほしい。
地域役員との交渉や、保健事業の準備など目には見えない業務
地域役員等との関係づくり
地区ごとにちがう特徴をふまえ、住民と関わっていること
地区での住民対応以外にも様々な仕事をしていること
地区に合った活動、地区の要望にこたえるように心がけていること
地区の方と直接接し、QOLを尊重しながら仕事をしていること
地区の様子を把握することもまだ不十分なので、できる限り住民さんの所へ足を運び、そこから得た情報、住民さんの声を大切にしていること。
地区やブロック、市全体のデータを収集し、そこから住民の声、関係機関からの情報をふまえ、企画立案を行っているところ
地区活動
地区活動から得た情報や統計資料を活かし、地区組織や関係機関と連携し、新たな地区活動を企画し運営していること。新しい発想を多く提案していること。
地区活動で行ってる子育て支援での内容etcやケースの援助計画など
地区活動をはじめとした業務の中で関係機関とのかわりについて、日頃から関係を密に持つよう心がけている
地区活動を実施していく時には、住民の声(興味のある事など)と統計などの地区の実情の双方を大切にしている。
地区活動を念頭においた活動をしている事
地区住民、地区組織と共に実施していける様努力しています
地区住民・個への訪問活動や、地区組織活動。
地区住民の声を大切に、地区活動に力を入れているところ
地区住民性、ニーズにあった事業展開であること
地区住民組織活動
地区診断を行い、住民ニーズを確認して、事業をすすめているが担当課以外にうまく伝わらないところがあり(PR不足！)、事業の展開がからまわりし、効果的な仕事と評価されないこと
地区制ではなく業務分担制で、業務分担をしているため、仕事量や大変さが計りにくく、1人の保健師に業務がかたよる事も多い
地区組織(特に保健推進委員)と地域の課題を共有し、健康づくり事業において協働できるだけの歴史を積みあげてきたこと
地区組織(保健委員)の育成をしているところ
地区組織・団体との連携、根まわしは難しいが、なんとかやっているところ。
地区組織との連携から、健康づくりを住民の力でやろうとしていること
地区組織との連携を大切にしていること 住民との関わりや住民の声を大切にしていること
地区組織と一緒に実施した事業を上司に評価してほしい
地区組織と連携しながら住民への支援を行っていること(例えば母子推進員と連携した子育て支援)
地区組織の育成を住民と協力しながら運営していること
地区組織活動
地区組織活動 住民のニーズの把握
地区組織活動と連携し、保健活動を展開し、成果を上げていること
地区組織活動のための地区診断をしていること。
地区組織活動の必要性和チャレンジする試みはチャンスとして与えてもらいたい現状、日々の業務をこなすのがやっとです。
地区組織活動の様子 仕事の取り組み意欲
地区組織活動や住民との連携が例えば単一事例の処遇に終わらず、次の事例に生かされたり、地区の社会資源を作っていくことにつながる
地区担当した保健師の知識や介護支援専門員の知識を生かしながら、他の介護支援専門員と医療スタッフとのコーディネートをしたり、サービスに関する住民の声を生かして、コーディネートしていること。
地区担当として地区を把握するように努めなるべく政策・企画への立案につとめようとしているところ。
地区把握、わかりやすい住民への説明・声かけ
地区把握、地区診断による事業の企画立案
地区分析の結果や、住民の声から事業の企画・運営をしていること
地区役員の方々と連携をとって仕事を進めているところ
地道な、保健活動の結果、参加者の体調が改善したり、介護予防につながっているところ

地道なつきあわせが必要など
地道な活動だし、表には出にくいものであるが、利用者の声を大切に活動していること
地道な仕事であると思うが住民と直接関わり、日々こつこつと関係をつくっていく中で、健康、予防という視点から地区活動や保健事業を展開していること
地道にやっているところ
地道に一つ一つ住民のニーズを拾い、専門職としての視点からみえた情報と総合的に地域の健康づくりを考えていく仕事のあり方。派手ではなく、時間も要するが、大切だと思っています。
地道に仕事をこなしている所、気配り
地道に対象者と家族のことを思い、家庭訪問・相談することの大切さ。
地道に訪問をつづけているところ
地方計画策定において、トップダウンでない為、庁内の協力・理解を得たり、また、事務整理の時間が足りない。自分たちの中で考えたいと思っているスタッフと温度差があり、その差をうめることにも苦労が多い。特に保健師の忙しいということばにどのように、対応するかが苦慮している。その中で、一人で策定していること。
地味(道)な活動
地味な仕事のみ置ねが主なので、そのことを理解してほしい
若菜に行っている地味な業務をきちんと上司が評価してほしいと思います。
中核市移行に伴う移譲事業(新規事業)を企画して事業化していること
仲間と情報を共有し、思いやりやさしさをもって、住民、関係者とともに仕事をすすめていきたいと努力している
昼休みなして、住民と関わり、社会復帰を促している部分
丁寧に確実に行っていると思っているところ
丁寧に仕事をしていること(応対も含めて)
丁寧に住民と関わり、支援していること。
庁内で専門職として同じ場に勤務する職員がいないためできてあたりまえ、何をしているのかわからないと見られがちのため、日々の業務(地域の健康問題のまとめや、何日のTELでのやりとり等変化のない事)の大切さも理解してほしい。上司も周りも移動で変わり忙しくいっしょに業務に参加してくれる時間や余裕が周囲の職員にも求められなくなっている。
町の保健事業を企画・運営にかかわる中でも、特に住民と直接かかわる事により、住民の声を大切にしていること
町の保健事業計画立案や住民への保健サービスに、専門職として意見を反映したり情報提供、実際の活動ができること。
町全体の健康課題を把握し、現状から、住民の生活力と組織力の中で、どのような保健事業を企画展開していくか
住民との個別の関わりを大切にしているところ。
調査結果を生かし市政に提案すること
調査票に記載されている項目以外に、保健師としての観察、長年勤務した中からの情報を特記事項に記載し、判断している点。又、住民の方に必要な情報提供をしている点
調整機能
調整等に時間がかかるが必要であること
長い目での地域とのかかわりの中での活動評価
長期休業から復帰して間もないので、今のところ評価してほしい、と思うことはありません
長年してきたことを少しずつ改善していこうとしているところ
長年の蓄積したデータや、住民と接した経験から、地域の実情に応じた活動がしたい。
長年の保健師活動から得た知識や地域の情報を活かして住民の意見を充分に尊重しつつ、実行可能な、独自性のある計画づくりに取り組んでいること
直接、事務分掌には記されていない(配置部署の所管ではない)業務も日常の中で市民サービスの為、対応している。
直接、住民と関わり、住民の生の声を聞くことができること。それを少しでも生かして住民の声を形にしていけること
直接、住民と関わり、色々な情報を得られる所
直接、住民の声を聞きそれを事業や業務に取り入れること
直接、人と関わりをもちながら、その人の顔を見て仕事をしたいと考えているので、できる限り、自分で足を運ぼうとしているところ。
直接、地域の中で住民に関わり、家族等も含めた視点で情報を収集し、必要な支援を行っていること。その個々の支援を積み重ねていくなかで個々のケースをつなげ地域の課題へと発展させていくこと 常に問題意識をもって発展的に取り組んでいるところ
直接の上司
直接住民とかかわり、一方で専門職として広い視点ももっていること。
直接住民と関わり、そこから情報を得ることができること
直接住民と関わることは少ないが、業務に必要な知識を常に得よう努力し、関係機関へ情報提供できるようにしていること。
直接住民と接し、個々のニーズにも対応しているところ
直接住民と接し、生の声を聞き大切にしていること
直接住民と接する業務を大切に、住民の立場に立って物事を考えていること。
直接住民と対応し相談して良かったと思われる援助をした時
直接的な住民サービスを担っている点
定例の事業などはりつけの業務が多く忙しいが、ケースも大事に考え活動していること
定例業務であっても、改善発展させている点

的な常では考えられない感覚、考え方、養育環境などなどの人達が対象となることが多く、大変な労力を要していること
適正に評価されていると思っています。
電話や窓口で相談を受けた時は、相談者を不安にさせないようにすぐにケアマネージャー等と情報交換をし、対応するように心がけていること。
電話相談でかなりの時間をさいて相談していること。住民の声をインタビュー等で拾っていること。
都市型保健活動の展開において、住民意識の希薄さがネックになっている現在、その意識改革に取り組んでいるところ。
努力しているところ
投げやりになるのではなく、誠実に仕事を一つ一つこなしていったこと
当事者が地域で生活するためサポートしている所
当然のことではあるが、1人1人住民の声を大切に、保健事業に生かしていること
当町での今までの経過を把握しようとしていること 不明や不安な点をきいているところ
答えがあるわけではなく、何の権限も持たされぬまま責任だけが重くのしかかる困難事例への対応を、前向きにやっていると
答えたくない。
統計から地区診断をする難しさ
統計に出にくい相談業務の長期的効果
統計や結果ではなく、それまでに至る過程や方法
統計及び住民の声等から保健事業を効果的に行えるよう柔軟に対応していること。広い視点から保健事業を推進していること。
統計処理
統計処理、住民の声を大切にしていること
統計処理一毎年、(現状問題点、まとめなど)まとめて冊子にして関係機関へPR 自分もそれをまとめることで再確認している 事業の企画・運営一新しい事業の企画、立ち上げを(25年間のあいだに)ほとんどしてきた。(主に)・老保、機能訓練、総合検診、成人歯科検診・電算化(健康管理システム)・母子保健計画と事業化～見直しまで・精神作業所開設(予算、備品、運営まで) ☆保健業務のまとめ(リーダーシップ)
統計処理・情報管理を工夫していること。
統計処理から地区診断すること
統計処理と住民のニーズにあわせた活動をしている事
統計処理については 自分自身関心があり 統計処理とともに住民の声を充分に把握した地域診断を行えること
統計処理の結果や住民の声を大切にしている。
統計処理はもちろん、個々のケースを大切に住民のニーズに沿うよう心がけていること。
統計処理をし統計のまとめを行っていること。
統計上の数だけでなく中身(質)の評価
統計上の数も大事だが、仕事の質も評価してほしい(住民の声をよく聴き、そこから健康問題を把握 新しいサービスを考え、実行していくこと)
統計上は表われない住民、利用者の健康に関する行動、気持ちの変化について
統計的な処理をもとに看護・公衆衛生の知識を生かして地域住民の健康づくりに必要な活動を企画推進していこうとしていること
統計的な全体的効果はなかなかみえにくい、関わった住民ひとりひとりが健診データ等健康のレベルがあがり、健康意識が高まっていくことを住民自身も自覚していけること。自分の仕事の評価はただ「よくやっている」と言われるだけではなく、数値等で客観的に提示していかなければならず、それは自分自身で明らかにしていかなければならないことだと思う。「評価」の方法について、深く学んでいく必要があると痛感する日々です。
統計的な全体的効果はなかなかみえにくい、関わった住民ひとりひとりが健診データ等健康のレベルがあがり、健康意識が高まっていくことを住民自身も自覚していけること。自分の仕事の評価はただ「よくやっている」と言われるだけではなく、数値等で客観的に提示していかなければならず、それは自分自身で明らかにしていかなければならないことだと思う。「評価」の方法について深く学んでいく必要があると痛感する日々です。
統計的に出る相談件数ばかりでなく数字としてあらわれにくい、保健予防活動を評価してほしい またうまくPRする方法があれば知りたい。
統計的に多い少ないという結果も大切だが、住民1人1人の声を大事にしていること。
統計的に多い少ないという結果も大切だが、住民1人1人の声を大事にしていること。
統計等にはでにくい、個々への地味な支援をしていること
統計等科学的根拠で地域をみていくことは大切だが、住民と一緒に健康問題を考えているところを評価してほしい
統計分析(医療費分析)から事業企画を行っているところ。個別ケースごとの評価に力を入れて効果、結果を数値データで提示しているところ。
働く女性のお子さん(乳児)を保育していて、自分も同じ立場であり、働く女性の困っていることの相談を大切にしていること。
動員数や参加者数などでは評価しきれない、困難事例への対応について。
同じ業務グループの同僚が仕事が円滑にすすむよう人員配置・業務分担を配慮していること
同じ仕事でも人によって早さが違う。同じ時間でも人によって仕事できる量に違いがあること
同じ専門職としてケアマネージャーや施設職員との連携がとれる
同じ地域をみる観点から職場のチームワークを大切にしていること
同年代として共感しながら関わっていけること
同僚の仕事の進み具合を見ながら、仕事の分担をしているところ
特に1. 看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。2. 地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。

特にありませんが、業務等の内容について、記録して、わかりやすくして、(誰が見ても)残すようにしていること。
特にどのようなところというのではなく、総合的に評価してほしい
特になし(仕事量の多さ)
特になし、現在も評価してもらっているの。
特にはないが、地域を見る観点から住民の声を大切にしている関係機関につなげていること。
特に何も思わない。
特に思いあたりません。
特に思いあたりません…。一生懸命やっています。
特に専門でなかった福祉の分野の仕事に対して、真摯に取り組んでいる姿勢。(保健師としての視点をもっと反映させなくてはという反省点はありますが)
特に他職種、事務職に対して数字だけで保健師の仕事の評価するのではなく日々のケースへの関わりや事業にとりくむ姿勢でそれぞれが何を大切にしているかという内面的な部分にも少しは目をむけてほしい。
特に評価してほしいところはない
特に評価してほしい事はありますが、なるべく住民の訴えや話を聞くようにしている(当然の事ですが)
特に評価して欲しいと思いつきながら仕事はしていません 予防事業を展開しているので3~5年后、住民の皆さんの健康状態がどの様に変化したか、その結果が評価だと思っています
特に評価は求めていません。
特に母子保健や精神保健での個別の関わりについては信頼関係づくりを重要視し、今後の働きかけが有効(効果的)になるよう心がけている。すぐには結果や数値的な評価はでないが、大切なことだと思う。
特定疾患の制度の活用について他制度優先なため、どこまでがどの制度なのかの判断がむずかしく、その制度ごとの担当から話を聞き最終的利用はそのケースに合わせて紹介していくこと
特別、評価してほしいとは思っていない。
特別なことではありませんが、常に関わった方(個人、事業を問わず)に来てよかったと思っていただけるように工夫していきたいと思います。環境、パンフレット他の整備も含めて。その中で事業化した方が良いものについては新規、見直し含め検討していきたいです。
特別誰かに自分のことを評価してほしいという思いは強くありません。ただ、自分に恥ずかしくないように仕事をきちんとしていきたいと思っています。(事業評価やそういった部分での評価は重要と思います)
内容をまとめ課題を抽出し、改善に活かすこと
難しい業務にはすぐ他の同僚に意見を求めて解決するところがあるため自分の仕事としての成果として示すところなく、評価に値する部分は現在ない
難しい事例を解決した時など、内容をもっとみてほしい 数だけで、評価されたくない
難問題へ対応(住民からの苦情・クレーム)の多い職場であり、難問をつきつける住民が、まともな話が通じない方が相手なので、その辺の調整については、評価されたい。(前職場)→自らあるべき姿を自覚し、計画、実行に結びつけた。
日頃から住民の声、住民としての望みを大切に、専門職としての役割を果たすようにしている
日頃から評価されていると思うので特になし
日頃の業務の中で、住民とかかわる機会を、大切に、集中して、育児支援のためにいいに関わっていること
日常の業務で手一杯になっている中で、担当ケースをできる限り支援し、来年度の業務の内容をより良くしようと考えているところ
日常の業務の中で、得られた情報に基づき事業を企画し、実施していること
日常の相談業務の中で専門的知識を活かした個へのかかわり
日常業務がうまく展開している様子に心配りを忘れない様子にしているつもりです。
日常業務の円滑な推進とともに、専門的な知識を生かした相談業務や自主グループ活動など、幅広く活動しているところ
日常業務の中から住民の声をキャッチし、そこから得た情報を基に事業へ結びつけていること。
日常業務の中で、住民とのかかわりを大事にしていること
日常業務の中で気づいたことや感じたことを事業の見直しにいかしたいと考えていること(ただし現実には、市内9ヶ所の保健センターで各事業ごとに統一したマニュアルがあり意見が反映されにくい)
日々、保健事業、介護予防事業、介護保険事業の業務をこなすのに精一杯で、首長や上司に評価してもらえるような事業そのものの評価(特に保険事業、介護予防事業)ができていないことに常に焦りを感じている。難病患者の在宅復帰や処遇困難事例があり、本人や家族のQOLの向上を目指し医療・保健・福祉を広く捉え専門知識をもって各専門機関との連絡調整を図っているが、このことは保健師に与えられた大きな役割と思い活動していること。
日々あたり前の業務の中で潜在化している問題を、新人としての素朴な疑問を投げかけるところ
日々の活動の中で感覚的にとらえたことや、住民からの声を事業の企画運営にいかせるようにしていること。
日々の業務 事例との関わり対応について
日々の業務の中での住民に対する声かけ等、人とのふれあいを大切にしている点
日々の業務の中での住民に対する声かけ等、人とのふれあいを大切にしている点
日々の業務は地味で大きな成果がみえにくい、というのが保健業務なので、今実施している業務が将来住民にとってプラスになった、とか、ならなかった等の評価がほしい
日々の業務への取り組み 相手に対していいに対応しよう心がけているところ
日々の業務を責任もって行っているところ
日々の仕事におわれて、全部中途半端におわっている 評価されるような仕事はなかなかできていないのが現状 評価するとすれば、内容より、仕事をこなしているということぐらい
日々の住民との関わりを大切に積み上げ、看護、医療の知識はもちろんのこと幅広い関係職種との関わりを生かした仕事ができること。住民の生活の視点でとらえたニーズに基づき企画運営をしていることは行政内部の中でも一番多いと思っている。
日々の積み重ねが形になっていく点。すぐに結果が得られず、目に見える形となつてあられ難い点。
日々の相談業務や関係機関との連携 地道な事務作業(ケース管理やまとめ)など日頃の活動がみえないといわれることについて不満 いかにか他職種(事務職)にみとめてもらうかが課題。
日々の地域活動の中で住民と積極的に関わり、住民の声を大切にしていること
日々の動きを見て知って欲しい

日々の訪問・地域活動を地道に重ねたうえで健診・相談・教室等がある。地道な毎日の地域や他機関・他職種との連携・関わりの部分、地域コーディネートの役割を評価してほしい
日々の訪問活動、乳幼児健診などでの住民の方々と接する時に聞いた要望を実現しようと努力しているところ。
日々の忙しさに流されず、統計的に、考えているところ
日々行っている支援事業（Tel相談、HV、健診）が、虐待などの防止や対象者の支援につながっていることを評価してほしい。
日々市民と接し（相談、教育、訪問等）困っている事だけでなく、自分達の市を良くしていこうという思いやアイデアを市民と一緒に計画立案し政策化していこうとしていることを評価して欲しい【要望があった事だけ解決していればいいという考えだけでなく】
日々新しい健康・医療中心とした情報を得ながら、直接住民と対話し相談者あるいは講師として健康増進、予防活動に取り組んでいること一数値的評価はしにくい、見えにくい評価して欲しいところ
乳幼児から高齢者までの健康に関する個別的な相談（訪問、健診等も含み）を受けながら、個人が（または家族）自分自身で問題解決していけるよう支援しているところ
乳幼児の発達、虐待等は、年々新しい情報があり非常に深い知識が必要であり、自宅でもかなりの時間をかけ本を読んだりしてきた。そういった知識の習得に時間がかかっていることをまずは、理解してほしい。目に見えない部分での質の向上に努力をしているところ等
乳幼児健診の個別化による、健診後のフォロー 健診と相談事業、療育事業の連動した教室運営
認定（介護）調査の件数をおのみ評価せず、制度の説明や健康管理上の相談、関係機関との連携など保健師としての活動をも行なっているという評価をしてほしい
認定調査に終わらずその結果から見えてくる個のケースや、全体像へのアプローチができるよう他部署との積極的な連携に直接的に関わる用意をしているところ。
熱心に住民の話をきき、対応していること。
年度途中で保健業務への関わりが徐々に広がってきたところである、これまでの事業の進め方を先輩PHNと振り返り、前向きな業務に展開できるように努めたいと思っている、現時点で保健行政について学ぶ必要がある。
粘り強く仕事を行うこと
納得して処遇してもらったという思いをもってもらう
能力がともなわないうん、できることは頑張るという気持ちで取り組んでいる点
把握している限りの健康問題を解決するために、事業に様々な工夫をしている点。
漠然としますが住民主体を常に意識しながら仕事をしていること
八年間で得ることができた病院勤務の中での経験を生かした対応（十分ではありませんが）
発生した業務、任された業務、命令された業務に関しては、自分なりに努力し処理し、一定の結果まで報告できる点
煩雑な仕事のマニュアルづくり、情報を見やすくまとめる ルーチンワークの効率化が、私は好きなようです
悲しいことですが、これは保健師業務なんだろうかと考えるようなことまでやらざるをえず、やっていること。
費用対効果のある事業であることを理解し評価してほしい
非効率と思われるかも知れないが、地域の人の相談に1つ1つ地道に対応していること。地区担当保健師として、地域の特性を掴むように努力していること
非常勤職員という身分で認定調査が中心の業務なので、現在は限られた内容での関わりが中心です。調査の中で、住民の訴えをよくきき、必要なサービスをスムーズに利用できるよう説明、対応しているところ
必要とされた業務を確実にこなす努力をしていること。
必要時は他係事業所等と連携をとりサービス利用等がスムーズにいくように配慮していること
表に出る人（住民団体、関係機関等）を支え、パワーアップすることによる地域福祉のネットワークづくりの推進～調整能力、健康づくり、育児サークルのリーダー等、地域における社会資源としての人材を掘りおこし育てることで地域力のアップ～人材育成能力
表に立つて自ら行うのではなく、委託している在宅介護支援センター職員の後方支援（相談、業務内容の立案、困難ケースへの対応指導、関係課との調整など）環境整備をしていること。えんの下の力持ちがいるから業務が円滑にまわっているのだということ。上記の内容を行うにはかなり力量がいる事！
表の目立つ部分だけで評価するのではなく、それに至るまでの過程を努力しているところ。
表面上にはあまり出てきにくい、こまかい要方の事業準備等を行っていること。
評価いただくレベルまで達していないのが現状です。とにかく連携をする方たちの「話をきく」ことを第一に大切に考えて進退するのみです
評価が非常にされにくい部分に保健師の役割があると思っています。（特に事例への援助については保健師の存在がなくても地域で生活していくことができるように様々な機関等ができあがるのが大切）ただ、やはり客観的に評価がされるよう専門性を確立することは重要と考えます。（具体的には記入できず申しわけありません）
評価されるだけの仕事できていません
評価されるだけの仕事をしている自信がない。しいて言うなら、与えられた仕事はできるだけ早く処理するようにしている。
評価されるため、またはしてもらうために仕事しているわけではない。このような質問をされること自体、かなり不本意で怒りを感じます。不愉快です。
評価されるために働くのではありません。
評価されるまでに至っていないと思う
評価されるまでに達していない
評価されるような仕事をしているか不安です。
評価しづらい、目に見えづらい業務のため、区役所、本庁の事務職
評価していただけるようなところがないので、これから頑張っていきたいと思う
評価してほしい、というより、様々な業務に関わっていくなかで、住民の必要なニーズをきちんととらえ、返していけるよう仕事に取り組んでいきたい。
評価してほしいかどうかは分からない。今は、とにかく自分の業務を精一杯することだけ。
評価してほしいというより、それを知らせる努力はしていないと思います
評価してほしいというより、自分の中では、個々の事例を大事にしている。
評価してほしいというより、地域の実情・住民の要望を知る手段がなく苦労しているの、地域の情報を知りたいと思っていることを、地域の人たちに知ってほしいし、情報を提供してほしい。（ex何を望むか、等）
評価してほしいというよりは職種のイメージで評価するのをやめてほしい。
評価してほしいとは、あまり感じません。どこというよりいろいろなかたちで住民の声が開けることで評価になると思うため

評価してほしいとは思いませんが、かかわった人がより良い生活を送れていると感じられた度合いが多いこと。
評価してほしいと言うと難しいですが、与えられた仕事はこなせるように努力しています
評価してほしいと思いつまはたことではないですが、自分の仕事が住民の人の健康づくりに役立っているのかどうか客観的に評価する方々をできるだけとるように、努力しています。
評価してほしいと思う程、信念を持って自分が立派な仕事をしているとは思っていないので答えに困る設問ですが強いて言えば、自分なりの考えは常に持って、地域活動や健診業務にあたっていること
評価してほしいと思って仕事していないので、特になし。
評価してほしいと思って仕事をしているわけではないので特になし。
評価してほしいと思わない
評価してほしい業務がよくわからない。流れに流されてしていると思ったり、したいからしたいと思っているのかわからない時がある
評価してもらいたいと思うような活動が全くてきていないので、評価して欲しいと思わない。
評価してもらおうと考えたとき、思いつかないのが本音です、強いて言うならば、仕事の優先度の決定(?)や、実施可能か否かの見極め…かと思いますが…
評価してもらえるほど、まだ仕事をしていないのでわかりません。
評価してもらえるほどのことができていないと思う
評価してもらえるほどのことはできていません。日々、住民の期待に応えられるよう努力はしているつもりですが思うようにいかないことが多いので。
評価してもらえるような、仕事には、まだ至っていません
評価してもらえるような、事業結果の報告方法をしていないのが問題。
評価してもらえるような業務をしている気がしません。
評価してもらえるような仕事ができていると感じる 事業がスムーズにできるよう 予測できることを先回りしてやっておくこと…
評価してもらえるような仕事ができているかどうか自信ないですが、どんな仕事でも、優先順位や相手の立場、気持ちを考え、一つ一つ丁寧にやる心がけています。
評価してもらえるような仕事ができるよう努力したいです
評価してもらえるような仕事をしていないということに気づきました。(ただ、日常業務を忙しくこなしているような気がしています)
評価してもらえる程の仕事をしているか疑問です。
評価してもらえる様ところが特になし。
評価してもらおうとは思いません。
評価してもらっていると思います。
評価して頂けるような所はまだないと思う。自分で自分に自信がある保健師でなければこの質問には答えられないと思う。適切でないと思います。
評価して欲しいとありますが、他者からの評価ということだと思いますが、評価する方が誰かということでも ちがってくると思います。今行っている事業が、保健師 栄養士等 専門職以外の関係機関や行政職の人に事業の有効性を評価してほしい
評価して欲しいという事より、自分自身が納得ができる仕事がいかに着手させてもらえるかということの方が大切に今は思う
評価して欲しいところが思い浮かばない
評価して欲しいと言うよりも、各々の保健師が実施していることを見て欲しい。(評価する以前に個々の担当に業務を任せ検討されることがないため、まずは各々が何をしているかを見て欲しい。)
評価して欲しいと考えながら今の仕事をした事はない、もちろん評価されたとしたら、うれしいが…なぜ自分はこの仕事をしているのかということそれは自分自身のためだから、日々淡々と仕事をする
評価して欲しいと思うことはあまりない。それよりも、行政職として知っておかなければならない事、基本的な事を知り、その中で専門職としての力が発揮できれば、自分で自分を評価できる。まだ、評価される立場にないと思っている。
評価して欲しいと思えるほどの仕事は出来ていないと思います
評価して欲しいと思ったことはあまりない。
評価して欲しいほど、専門性を生かした仕事をしているわけではない。しかし、時間をみつけて(業務時間内に)自分の意見や計画案を提案したいと考えている。
評価しなくてもよいので事務量をへらし保健の仕事に集中させてほしい
評価しにくい、ネットワーク作りや人材作り、組織作りを力を入れていること そのために、住民の声を大切に事業を行っていること
評価できることはあまりありません?学ぼうとする気持ち…??市民の目標を大切にすること…?
評価できるところが今のままではないと思います
評価というより、同じ公務員でありながら基本姿勢が異なる事務職の人が多すぎる。「そこまで住民が望むことをする必要がない…」と会話にあるのが不思議、専任業務担当となり2年。一人で行っており、事業をどの程度広げていけばよいのか判断にまよう。同じ保健師でもあまり仕事熱心でない人もいるので困る
評価というより現場ではどのようなケースに対応して、どのような点で困っているのか、問題となっているのか、現状を知ってもらうことだけでも良い。
評価として数値化できない様な時間がとられる住民との関わりがあること
評価に値する仕事はできていない
評価の基準が、自分自身わからない。常に心身のコンディションにも耳を傾けながら、仕事に取り組んでいきたい。その上で、自分の枠を超える前向きなチャレンジをしていきたいと考えている。
評価の指標や価値感の個性が大きく、評価そのものは難しい事と日頃から感じています 自分自身の評価よりも、働いている組織(市全体)の中で、保健師の仕事をもっと知ってほしいし、認めて欲しいと日々思っています。毎日の小さな積み重ねをどう目に見えるものにしていくか、仕事として示していくかが大切だと思います
評価の要望を出せるほど仕事ができるとは思っていないため
評価はしてもらっていることのうらがえしとは思いますが、関連業務すべておろされてしまい十分担されていない。
評価はして欲しいのですが、理解はして欲しい(現状の重さを…)
評価はない
評価はまだしてほしくない
評価は期待していない一所詮人間が人間を評価するのでから感情が入ると思う

評価は自分から望むものではなく、自分の仕事に対する姿勢によって周囲から得られるものだと考えている。
評価は相手がすることなので、自分の仕事のことでいうことはない
評価は他人から受けるものだから、特に思はない
評価は特に求めない。
評価よりも、住民が良かったとか喜んでくれていれば良いと思っている
評価をしてほしいという事というより仕事ぶり業務のすゝめ方など上司として指導育成する、されることがなかった。より高めあうと取り組みが必要と思う
評価をしてもらえるほどの仕事をしているとは思っていない。もっと学習して、「保健師としての仕事」ができるようになりたいと思うが。
評価をして欲しいという考え自体思っていないので、とても答えにくいです。誰かや、何かに評価して欲しいとは考えていませんし、評価自体、対人サービスにあたっては、対象となる方々が、10人いれば皆違ってくるものと思っています。ですから、今現在は、評価して欲しいという表現よりは、日々、今の自分が何が出来るのか、何が不足しているのかを、考えて、仕事をしている…といった方が自分には合っているように思います。
評価をして欲しいと胸を張れる仕事をしていないのが、とても残念です 強いと言えば、住民にとって何が良いのか(処遇困難ケース等)を考え良いと思った事は上の人達にも言う姿勢
評価をして欲しいと思ってるの仕事はしていません。
評価をする人が、どういう人かによっても内容が若干ちがうと思いますが…。保健師の専門職としての地域活動の実施
評価をどの点でしてほしいのか、よくわからない。自分でもよくわからない点が、困っている。
評価を期待していない
評価を要求できるほど仕事ができているとは思えない。
評価以前に業務量が多すぎるので、毎日仕事をこなすのでせいっぱいです。ひと思えれと、仕事が終わらなくなるので、1つ1つを丁寧にあつかう余裕がない。
評価者やその基準により評価すべき対象が違うと思うので記入出来ない
評価方法が分からない。
評価目標が設定しづらいところ(日々相談業務に追われ、立ち止まって、客観的事実として、とらえることがむずかしいところを、理解してもらうには…)
病医院の管理を離れた最初の公的な4か月児健康診査を出発点として(場合によっては、新生児期であっても)育児不安の高い時期に母・父の思いを受け止め、楽しい子育てを目指していること
病院と市の人事交流という形でできているので、病院との連携が少しでも密になれば、又、病院に今学んだことをもちかえって、生かしたいと思っているので、そのあたりの評価。
病気の予防、介護予防を、個だけではなく、集団としての視点で見ることができ、地域住民と接していること。
病気の予防、介護予防を、個だけではなく、集団としての視点で見ることができ、地域住民と接していること。
病気の予防、介護予防を、個だけではなく、集団としての視点で見ることができ、地域住民と接していること。
病気の予防、介護予防を、個だけではなく、集団としての視点で見ることができ、地域住民と接していること。
病気の予防、介護予防を、個だけではなく、集団としての視点で見ることができ、地域住民と接していること。
病気の予防のために活動しているところ(統計・健康教育など)
病気や障害のあるなしに関係なく、全ての人の健康に関する身近な窓口であること。
不況の世の中、職があり、給料がいただけるので、自分の仕事をもちやすそうと思っています。(実際は、いろいろめけていたりして周囲の方々に迷惑をおかけしていますが)
不景気な世の間では、効率が問われ、保健師という専門職として、どれだけ対応したか(訪問、電話等)の効果がもたらされ、常に仕事の充実感よりも、こなすための仕事になり、このままでよいのかと自問している事が多くなっています、何ケース対応したかだけでなく、困難な事例、ケースをどのように処遇できよう方向に導いているのかを評価して頂きたい
不明
不明
不明
不明
普段からあまり深く考えて、仕事をしていないので無責任のようにあるが、とりあえず、自分が行なった業務に周りが理解を示してくれれば良いと思っている。
部下との連携のとり方が不得意
幅広い視野で対象となる人、地域を見て、その人、地域にあわせた保健活動を行う人であること。(通りいっぺんの健康上のアドバイスをする人だと思われることがある。)
幅広い対象と関わりながら、そこから、情報を得て地域の健康づくりや地域活動に役立っていること
幅広い分野における知識
幅広い分野に精通し、各分野を統合、コーディネートしていること。
幅広く情報を取入れるよう努力はしている
幅広く様々な業務を日々こなしているところ
福祉、教育、地域民間と連携して困難ケースを支えている現状。(調整、相談役としての機能)
福祉サービスの中で、保健師の関わり的重要性(障害福祉、児童福祉)
福祉サービス等、公共的なサービスをうまく受けることができないでいる、自立度の低いケースに対して、コーディネートしていることが、うまく、上司に伝えることができない、そのため理解がされにくい
福祉と国保の分野で、専門職として住民に接していること
福祉と保健の一体相談窓口担当なので、福祉相談の中で、保健的視点での関わりをもっとだしたいと思っているが、福祉相談が圧倒的に多く福祉のお手伝い的役割しかさせてもらっていない。(が、もたらされてしまっている。)
福祉にかかわる保健師として、介護支援専門員、精神保健福祉士の知識をも生かしてソーシャルワーク活動をしていること
福祉に関する連携の推進
福祉のみでなく保健の視点も持って、住民に関われること。健康の維持・向上(病気の予防)を促していること。

福祉の仕事をしていると、まだまだ経験不足ではありますが、色々思うことがあります。例えば、申請主義ではあるが周知徹底できていなかったり、ニーズがひろいあげられてなかったりするの、予防活動の目でみると、非常に気になるので、専門職としての関わりが重要だと思うのですが、日常業務を公平・公正に遂行する上ではなかなか1人への関わりが十分できません。又、専門職でなくても、個別の関わりが深くなるので、十分な関わりができるように、自分の仕事としてだけでなく、職場全体としての評価をせひして頂いて、十分な人員配置がなされればと思います。
福祉の職場で課長職となっているため、事務能力と専門的対応の両方を期待されていると思う。この立場で役割をはたしているという評価は嬉しいが、課長となって1年目であり、課長としての評価には自信がない。
福祉の制度を利用する住民と関わる際、必要に応じて看護や医療の知識を生かした助言ができること。
福祉の中で医療の評価が充分されていない 専門職としての関わりに対する評価
福祉の中で保健師の専門とできる分野 地域の健康上の介護上の相談にのりルートののせる 福祉に保健、医療の視点を入れる点を評価してほしい
福祉の部署において、看護、保健の視点をもって住民と関わり、又、事業の運営を行っていること
福祉の部門にいてこと、ケアマネでもあることから、関係職種とのつながりができていること、困難な事例でも、その関係職種の人たちとある程度は問題解決に向けて、検討できるような関係ができていること。
福祉関係の仕事の中で保健の知識を生かせるという事
福祉現場であるが、保健予防的業務を充実させた時に、事業評価してほしい
福祉行政の中での保健師の役割について、また他職種との連携について、共有していくことが難しい。
福祉事務所と保健所を合体させた職場の事業企画というポジションの係長として、保健師でもいけるじゃないか、という評価はほしいと思うし、他職種よりやはり保健師をという人事になるように望んでいる。
福祉事務所内で、どこも主にかかわることができない困難事例を多数もっていること
福祉職(ケースワーカー)との職能のちがいが。チームケア能力 職業倫理
福祉職場で保健師というよりも、事務職としての仕事なので、知識を生かすという事は少ない。専門職としての観点での地域づくりに取り組んでいきたいと思うが、別のところで決められた方針で取りまわっていて、カヤの外という感じ
福祉職場にいてので保健師として、医療的知識を活かし、住民との相談、対応していることについて。
福祉的視点のみでなく保健的視点で調査+αの指導、援助ができる 社会資源を紹介できるなど、その人に必要な資源への結びつけができる
福祉部門における専門性の必要性 ・住民からの相談 ・事業の評価、施策案の提案
福祉部門に所属していて、実質はケースワーカーと同じ業務をしていますが、その中でも保健の視点を生かしていきたいと、保健部門に所属していた時よりも強く感じています。
福祉分野でのPHNの役割について、まだよく分からない現状である。しかし、日々勉強し、役割等について明らかにしたいという希望がある。又、仕事もPHNの仕事といえるのか分からないが、自分なりに努力しているところを評価してほしいと思う
福祉分野で働いているため、看護、医療の知識をふまえて相談に対応している部分
福祉分野に配属され住民と多く関わり、そこからのニーズをとらえ事業の企画、運営をしていること
福祉分野の知識も身につけ、総合的な相談に対応しようとしているところ
福祉分野の中での保健師業務の確立と、福祉等専門職とのネットワークの形成
複数の業務についてバランスを取り、やりくりしている点
複数の事業内容を他の専門職とともに連携してこなしているところ
分かりません
分かりません
分かりません。
分野及び対象者に対して誠意を持って仕事していることをそのまま受け止めてもらえればよい
文章にして見えない仕事が多い
別に評価してほしいとは思いません。
偏見がなく、全体的に客観的に判断するように努力していること
勉強してきた知識を生かして住民と関わり、住民の声を大切に村全体の向上のために、情報や経験を積み重ねていること
保育は保育 ケガや衛生面の必要なときは、保健を呼ぶ、ではなく保健面も保育の活動に組み込み(私の)専門知識を活用してほしい 看護・医療面の知識とはすり傷や打撲の処世ではなく、家族関係やライフサイクル、心理面についても学んで入ってきている。そのことを認め、実践する場を与えてほしい
保育は保育、ケガや衛生面の必要なときは、保健を呼ぶ、ではなく保健面も保育の活動に組み込み(私の)専門知識を活用してほしい 看護・医療面の知識とはすり傷や打撲の処世ではなく、家族関係やライフサイクル、心理面についても学んで入ってきている。そのことを認め、実践する場を与えてほしい
保育園の中では保育的な部分の業務がほとんどで、専門的な知識を生かしてきていないが、時間外や、自宅にて、知識が普及できる様に資料づくりや統計的な事務を行ったり、保護者に声をかけて不安を解消できる様に努めている。
保育園保健師の仕事は保健師の仕事分野の1つとして評価してほしいです
保育所(園)入所児の健康に関することに、看護・医療の知識を生かした専門職として関わっていること
保育所の保健衛生管理と看護職としての専門性を生かし、独自の事業を保育行政において行っていること
保育所内だけの業務なので、他機関との連携をとるのには園長の許可をいちいちとらなければならず、保育所に保健師がいる必要性がよく分からない
保健
保健(予防的)的な視点で自分が仕事を中心にやっている(やるべき)という事。
保健、医療、看護や、制度をわかりやすく伝えるとともに、住民から得た情報を総合的に分析し、事業施策に反映させようと努力していること
保健、医療、福祉の総合的な視点で住民の相談にのっている
保健、医療、福祉の総合的な窓口として、縦割行政の中で住民や対応関係機関との連携を図ることができるとき
保健、医療、福祉の知識を生かし、介護保険制度の基本的な業務である認定調査や審査判定が、適切に行われるよう民間事業所や介護支援専門員と協働し、運営や調整をしているところ
保健、医療、福祉の連携を必要とする現場で常に住民、利用者と直接、接し生の声をひろっている。介護保険の利用者側に最も近い専門職としての関わりをしている
保健、医療の視点をもって現在の仕事を行っていること
保健、医療の専門分野の知識を生かした対人保健サービス及び、対人サービスから得た情報(住民ニーズ)を政策形成に繋ぎたいこと
保健、福祉、医療のマネジメントをしている事

保健・福祉・医療の連携にかかわる仕事をしていること
保健・福祉の知識を生かし、自分に足りない所は専門機関や団体、住民などと連携したり、チームになって仕事をしていること
保健・医療・福祉の総合的な窓口として縦割行政の中で住民や対応関係機関との連携を図ることができたとき
保健・医療・福祉の総合的な窓口として縦割行政の中で住民や対応関係機関との連携を図ることができたとき
保健・医療・福祉の知識を生かした専門職として地域住民と関わり、個々に合った健康上のニーズを把握し対応していること。
保健・医療・福祉をトータル的にみられ総合的判断ができること。
保健・医療の専門職として、保健・医療・福祉の一部について相談・援助をしていること。
保健・福祉(介護含)両方が見れる
保健・福祉・医療の広い見地からサービス内容の提案をしているのだが、専門職の評価はある程度得られる半面、上司、行政職、事務職からは否定的な評価しか得られない。
保健・福祉の知識と経験を生かして住民と関わりその声を事業計画・実践に反映していること。
保健・福祉の両分野で業務をみていること
保健センターだけでなく、他機関、地区組織を活用している。
保健センターで働いている保健師は、住民と密着した仕事をし、毎日住民個々のニーズに振り回されて、なかなか計画的な仕事が出来にくい。住民のニーズで、サービスがない施策を考え、提案していくのが、保健師の業務と考えるが緊縮財政の中、なかなか、それらが理解してもらえない ◎地域住民ニーズをしっかりとらえ、政策に反映していく
保健センターのみでなく、地域住民の人と一緒に活動すること。そしてそれを住民に広めていくこと。そこから住民の意見を吸い上げていくこと
保健センターを離れ、介護保険課に所属、当初は、ケアマネジャーとして期待されていたと思うのですが、市の方針で当市居宅介護支援事業所は、休業状態(困難事例数件のみ)、認定調査員として他の非常勤職員と同じ量の調査をこなしています。困難な方、苦情のフォロー、遠隔地調査等は、保健師として面接技術を駆使してある程度の評価はされています。1. 相談(面接の技術)、連携のノウハウ、医学的知識をもった専門職として、計画にも参加させてもらいたい。(企画、運営について意見を求められることは、ほとんどない)
保健センター課の仕事内容は実務も多く、体力勝負な面が多いというところ。地域の人々の生活を見守り、サポートしていくことの難しさと日々の業務量の多さを知ってほしい。
保健という専門性からの観点で、事業の企画、運営、情報の分析を行っていること。十分な連携により仕事を行っていくことを大切にしていること。住民の状況をよく把握し、何を行うべきか目的意識を持って仕事にあたってのこと。
保健とか福祉とかの枠にとらわれず、対象者の生活の向上のために種々の関係機関と積極的に連携をとり合い、コーディネートしていること
保健と介護部門の兼務という点から、その両方の視点から、住民をみる事ができるとのこと。
保健と福祉、医療の分野を調整しながら住民の相談に応じていく能力
保健と福祉の連携にたずさわっている一今後のかはしに。
保健と福祉の連携について、保健師は保健関係との連携はスムーズであるが福祉関係についての連携はなかなか理解してもらえない部分がある
保健と福祉事業の総括管理
保健の技術的な専門視点で要介護高齢者・家族への支援業務を民間とのパートナーシップを強調しながら事業推進に専念している。
保健の視点をもって、保健福祉係で窓口対応しているところ
保健の視点をもつ専門職として住民等と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること。
保健の重要性や、仕事に対しての理解や評価をして欲しい。以前の職場でいつも、事務職に内容でなく、紙上だけの評価をされてきたので(PHNはヒマなので、できるはずだ…) おまけ 臨時職員(期限1年)なので、その立場での回答です。期待している回答にはなってないと思います
保健の専門職として、この視点から行政に事業の企画、運営に反映させていること。
保健の専門性を生かして、業務を行っている事
保健の知識や経験を生かした専門職として、保育園や幼稚園の子どもの発達を見守り、園職員や早期療育事業、教育委員会、小学校等と連携を密にししながら、保護者に関わっているところ。
保健の知識を生かした園児の健康なからづくり
保健の知識を生かした専門職として、住民と関わり、それぞれの地区組織毎に、それぞれが互いに力を出しあって健康寿命の延長につながるような、事業企画や運営が構築されていくこと
保健の立場から住民と個々に関わり、そこから得た情報をもとに地域のネットワークづくりに役立っている点。
保健や医療の知識、これまでに培った福祉的視点を生かした専門職として住民と関わっている。そこから得た情報ニーズを施策化まで結びつけられるようにしたい。(まずは前段階として、体制を整備している段階で潜在ニーズの掘り起こしは不十分である。)
保健や医療の知識を持って、住民やその家族と関わっていること。
保健や教育の評価は、いつ頃に誰がしていくのか
保健や福祉に関する相談に応じ、その人らしい生き方ができるよう、共に考えていること
保健医療が専門分野ではあるが、住民(対象者)の相談は多岐にわたっており、問題が複雑にからみあっている。広い視野と知識を持って相談業務に取り組んでいること。
保健医療の専門的な知識・情報を生活者としての視点も加味して住民に伝達しようとしている 住民にとって受けやすいサービス提供を目指して企画・運営している
保健衛生の業務は、1次予防に力を入れていることを同じ行政の上の方たちに理解してもらいたい
保健衛生の業務は、1次予防に力を入れていることを同じ行政の上の方たちに理解してもらいたい
保健衛生業務は、市民の最も大事な、政策、施策を展開していることから、もっと予算配分を増やすべきである
保健衛生業務以外の業務にかなりの時間を使っている点
保健活動が個人だけでなく社会的負担の軽減につながっていること
保健活動はすぐに成果が見られる事業ばかりではない。個別への対応では人間関係を築くために時間をかけることもある。また個別対応以外の業務でも、地道な活動で効果が数年先に出るものもある。一時、その時点だけをみて仕事ができていると判断しないでほしい。事務的な業務がけっこう多い専門職という視点で評価してほしい(こちらのアピールの仕方でも問題なのかもしれないが…)
保健活動はすぐ効果が見えにくいのが、数字だけで評価しがちであること 業務(現場)もみてから活動を理解して評価してほしい
保健活動は長い年月をかけて効果があらわれてくるものなので速効性に欠けるが、日々のこの地道な働きなくては、現代の長寿はなかったのではないかと思います。
保健関係以外との職種との交流が多いこと
保健業務、介護保険など種々雑多、行っていることを評価して欲しいと思います 保健師への視線が厳しいと思う(それは日々の自分達の行いから来るものとは思いますが、それ以外の感情もあると思う一女性で給料も高いなど)

保健業務は、保健師と事務職で両輪のごとくすすめることに、保健師の仕事も評価されていくと思う。専門職だけでもむずかしいので、お互いに協力し合って業務をすすめていきたい。
保健業務ははっきりと結果が現れるまで時間がかかるものであり、住民との信頼関係や心のつながりは数値等で測れないということ。
保健業務を総合的に視ることができる。
保健係長として、母子保健、老人保健、感染症、精神保健福祉、特定疾患等の事務の統括を行っている。他の係との連携を密にして、事業が円滑にすすむように努めている
保健行政をつかさどる職員の一員として、統計処理や企画を行うこと
保健師、養護教諭の養成施設の専任教員として、まだ経験が浅い。まだまだ勉強中といったところですが、学生の一人一人の特徴を理解し、それに応じた教育、進路指導などでできれば…と思っています
保健師イコール訪問しかない人がほとんどであり、それ以外に、いろいろな業務を平行してこなしていること。
保健師がコーディネート的な役割をはたしていること
保健師が何をしているのかみてほしい。健康や子育て(母子)に対して、身近な存在(話ができる場所)となるよう努めている…
保健師が力を発揮できる地域づくりや健康づくりに業務の時間をとりたいが、緊急対応におわれすぎている。福祉関係、事務職の人材を育成してほしい
保健師そのものの業務のほか、事務職の分野も兼務して行っているところ。他の看護職と違い、目に見えない部分が多いのでその部分、評価してもらいたい。
保健師そのものの重要性を評価して欲しい
保健師だからできること、保健師でなければできないこと(家庭訪問など)を評価してほしいが自分たちもどんだんアピールしないといけないし努力、勉強していかないといけないと感じる
保健師だけではなく、老人福祉指導主事も兼務しているため、かなりの業務量があること。
保健師だけの力では解決できない困難事例が増える中、他機関、他職種との連携を図り継続的な支援を日々展開していること。
保健師というよりもたくさんのパラメディカルスタッフを統括していること 都合の良い時だけPHNのカウントに入れてもらっていますが、実はこの統括業務が困難であり、PHNとしてのこだわりがあるとうまく進まないことあり
保健師という職業についてもっと理解してもらいたい。
保健師という職業を多くの方に知ってもらいたい。看護師はイメージしやすいのだが、保健師は何をする人かイメージがわからない人が多いと思う。
保健師という職種がどのようなものなのかを理解してほしい。
保健師という職種はマネージメント能力が高いということ
保健師という職種をいかして住民と関わり、住民サービスを展開していること
保健師という職名で仕事をしていません。しかし、専門職である特徴を生かした企画・運営をするよう心掛けるようにしていること。
保健師という専門職として、予防的視点ももたながら住民自身の力で健康問題の解決への行動ができるよう支援していること。
保健師という専門職として住民に関わっている部分とリーダーとしての役割によって動いている部分の両面をきちんと評価して欲しい。(本来係長(事務職)がやるべき仕事まで「よく知っているから」とさせられることに大いなる不満を持っています。)
保健師という専門職を地域住民に認識してもらい、住民の声を事業に展開していること
保健師という専門性を生かして事業を展開し、町民の健康へつなげていること
保健師どうしが同じ視点で業務をすすめるよう情報の共有化をこころがけているところ
保健師として、一般行政職よりも、住民のニーズについて(潜在的なニーズも)を理解し、それを様々な関係機関につなげる等の取組ができること。また、それが保健師にとって当前の仕事であること、即ち、保健師の仕事はトップダウンよりもボトムアップであることが大切であることへの理解がほしい(行政内組織において)
保健師として、今まで経験してきたことを生かして、訪問や接遇を行ない、他の調査員にも統一できるようにレベルアップを図ってきたこと。
保健師として、住民の生活・状況を見て、事業等に反映させていこうとしているところ。
保健師として、住民の声を大切にして事業計画を立案し、事業をすすめていること
保健師として、職場から得るニーズや地域住民との関わりの中で感じたニーズに添って事業の企画、運営をしている事
保健師として、地域住民がいつまでも健康で、生き生きとした生活を送れるように、どうすればよいかを考え、よりよい事業展開を考えているところ。(実際に成果がでるように今後がんばりたいです。)
保健師として、町民と接し、その人に適したアドバイスをしている。その後も町民と接する際、今までのことを考慮したりして町民にサービスする努力をしている
保健師として、評価できるような仕事をしていない
保健師としてだけでなく「保育」という技術(保育観も含む)を学んでいること
保健師としての業務
保健師としての業務でどのような評価方法があるのですか？(ただ単に訪問件数以外で)
保健師としての仕事の展開がされていること。(を、目指したいと思います)
保健師としての仕事をさせてほしい
保健師としての仕事を評価してほしいと思います。評価する側が仕事をしているという視点で見ているのは、事務能力のみであるという事。保健師は健診屋という認識をはずす努力を自分たちでする必要性を感じます。
保健師としての資質を生かした予防、評価的業務を行いたい。今は事務屋です
保健師としての職性(職能)を活かすことのできる職務に配属してほしい。
保健師としての専門職の技術を発揮できる事業の企画・運営を他職種とともに協力・参画している事を、他の専門職に評価して欲しい
保健師としての専門職の特徴を生かした仕事
保健師としての専門性
保健師としての専門性が生かせる職場なのかどうか疑問に感じているが、その中でも、看護の視点、予防の視点を取り入れて、ケースをみていること。専門以外の仕事にも、対応しなければならない状況があること。
保健師としての専門性が必要となる場合や、他機関との連携に結びつける様な場合
保健師としての専門性が必要となる場合や他機関との連携に結びつける様な場合
保健師としての専門性だけでなく、事務的作業や、他の制度がからむため、その点の情報収集や連携、他制度の知識などが必要となること。

保健師としての専門性をベースに、配属された部署の中で、自分なりに組織人行政職としての仕事を理解し取り組んでいること。
保健師としての専門性を活かし、相手の立場に立ち公平に対応していること
保健師としての専門性を活用した業務とその遂行について、地域や対象者個人の健康課題の把握と明確化、保健指導の技術で難易度の高いものへの対応。(現在は、重複受診者の訪問面接導入など)・専門性について、現場の業務を通して、工夫、検討し、マニュアル化のとり組みをしている点など
保健師としての専門性を強調しすぎず、他職種との関係を大切にしながら仕事がスムーズにすすむよう心がけている点
保健師としての専門性を生かした活動の内容、事業の企画等
保健師としての専門性を生かした業務事業運営について、各種マンパワー間の調整をしているところ 住民の声を生かし各事業の見直し(単年度)改善を行い常によりよいサービスの提供に、メンバー全員が協力して努力しているところ
保健師としての専門性を生かした仕事をしたい。
保健師としての専門性を発揮する業務を行い、住民からの評価を含めての上司(事務職)からの評価。
保健師としての専門的知識を住民の健康問題の解決に役立てること
保健師としての知識や経験を生かして、住民と関わり職員と一体となって、質の高いサービスを提供していること
保健師としての知識を活かし住民と関わり、関係機関と連携を取っているところ。
保健師としての地道な活動を他職種の人に評価して欲しい(地道な活動の評価をどう表わすかも難しいが…)
保健師としての役割をまずわかったほしい。
保健師としての予防技術の力量を住民、行政に認めてほしい。
保健師としての力をつけていくレベルである為、問われるレベルの評価の段階にはないと思う。ただ、専門職としての判断力を持ち、適切に対応していくことがまずは目標なのでその点については、評価が必要と思う
保健師として業務をしたいと思っているが、当課においては単なる事務的な業務のみで、自主的な情報収集もさせようとしていない 専門職としてみてほしい、専門職の理解ができていないのか疑問だ、これでは事務職のパート職員で充分と思える
保健師として経験年数が浅いながらも、経験年数の長い保健師と同様な業務(質、量ともに)をやっている、またはやろうとしていること。
保健師として仕事をしていない。(現在の仕事は、一般事務職の仕事をしている)
保健師として住民との関わりの中で、地域の問題点を分析していこうとしていること。
保健師として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業を実施していること 事業を通して、また住民と接する中で住民がいきいきと生活していること
保健師として住民と関わり、そこから得た情報を事業に反映しているところ
保健師として住民と関わりそこから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること
保健師として住民に対し、丁寧に接していこうとする姿勢。
保健師として住民の目線に立ち、専門職としての視点で企画していること
保健師として専門的な能力を要求される一方、現在の職場では条例の改正や行政診断など事務的な能力も要求されるので慣れていない事が多く大変である。
保健師として地域住民の生活実態や課題を分析し、健康づくりの視点(予防の視点)で総合行政の中で関わられるよう働きかけていること
保健師として働ける場所がほしい、今は事務職である、たとえば介護予防の活動等させてほしい
保健師として力が足りないのでしょうか、1人でこつこつと企画していくのは苦手です。が、アピール能力はあるような気がします。保健師がどんな仕事をしているのか？専門職はあつかいにくいと思われぬように、事務職と一緒に事業にとりくむなど、雰囲気づくりはできるかなと思います。お互いに理解することは、大事なことだと思し、連携することで大きな企画もできると思う。
保健師とは、様々な健康状態にある人を対象に健康を切り口として関わり、個別、集団アプローチをその時々状況に応じて展開していく職業であり、専門的な知識を必要とする仕事であること。
保健師とは何か。しかし、自分でも上手に説明できないので難しい
保健師ならではの対人支援サービス、調整力を生かして、住民さんがその力を発揮して地域で活動したり、個への支援ができる場所を評価してほしい(現在の職場では該当しない)
保健師になってそろそろ1年がたつが、成長していないような気がしてしまう。そんな中で評価して欲しいところを探すのは難しい、と感じてしまうのが本音。すみません。
保健師になって日が浅いので、疑問が沢山出てくるが、それらをいかに解消していくか、どうしたらより良い事業になるか、できるだけ多くの人と話し合っていること。
保健師のトップとして知識、技術の伝達を部下に行っていること。保健師の育成を丁寧にしていること。自分の所属外の保健師への気配り。
保健師の活動は評価を数値で示したり、すぐに実感してもらえるものはほとんどない、又対人サービスなので一定の評価基準があてはまらないことを理解評価してほしい。評価する側の人がもっと保健師の活動や重要性を理解してほしい 本庁や各保健福祉部の上司が保健師でないと難しいと思う
保健師の活動全てにおいて、保健事業が意味があるということを上司や、一般職、又、自分達の中でも評価したい。保健師の活動は点と点を線に線から面にする活動。「大変だね、事業以外のことをよくやるね」ではなく、「よい活動しているね」等、声をかけてもらいたい。
保健師の関わりで、その家庭の機能がうまくいったという目には見えにくい所。(数値や客観的な視点で表しにくい所)
保健師の業務の評価として、統計処理が主であるが、回数などで評価するだけでなく、内容も評価できるようなものがあれば良いと思う。
保健師の業務は、妙な例えだが、マルチタレントみたいなもので、専門性は大切だが、(もちろん)、専門性にばかりこだわってばかりでは、業務の発展性はありえない。業務のからを破ってゆくことも大切で、一個人として、人間性はもちろん、一般教養的なものも、他の職種ももちろんそうだが、より求められていると思う。たえず、いろんなところに、アンテナをはりめぐらせていきたい。
保健師の仕事の内容を分らない方が多いので、全体的な仕事の内容
保健師の仕事の幅の広さ
保健師の仕事の理解
保健師の仕事は、すぐに成果の見えないものもあるので、結果がはやくみえなくてもきちんと仕事をしているという事を知って評価してほしい
保健師の仕事は、結果が見えにくくあまりよく評価されないことが多いが、直接住民に関わり、住民の声を聞き、その中から住民にとって、何が必要かを考え、事業を企画したり運営している。
保健師の仕事は、地道な活動なので短時間(期間)で評価できないことを理解して欲しい。一人一人の相談に真しに取り組んでいるところ…でしょうか
保健師の仕事は、仲々結果がすぐ出るものではない事が多く、評価が難しいかもしれない。しかし、数年先を考えると、1年1年評価してほしいと思う。また特に個人へのかかわりの評価は仲々出せるものではないが良い方向に向いていく事を評価してほしいと思うが、時間的なものや、統計的なもので評価される事がほとんどで、保健師の表現も難しいかもしれない 地区組織を住民とともにつくっていった事が、多くあるが仲々上司に理解してもらうのが難しかった。(これは以前の事ですが)
保健師の仕事は、本人が頑張らなければならない腰かけOLのような日々を送り、何事も他人任せにお気楽にも過ごせません。(成果がある、ない、実行に移す機会がある、ないに関わらず)現場で働くようになってからも、学生時代に学んだ事を大切に思い、地域づくり型町づくりを夢に描きながら、日々頑張っていること。夢はあきらめないこと。就職してから自己学習を続けること。(あまり、続けられないけど、勉強していく向上心は消れない)
保健師の仕事は1つの事業が終わっても効果が目に見えない。継続していく事が大切であり、評価が出にくい。